

事業仕分け実施方針

「持続可能なまち」とは??

～少子高齢化・人口減少していくまちの規模にあった行政を市民と共に考える～

1 目的

現在、館山市は進行する少子高齢化・人口減少に伴う生産年齢人口の減少等により、収入減少や社会保障関連経費の増加、老朽化した公共施設への対策、自然災害への財政的な備えなど、多くの問題を抱えている。

しかし、下を向いてばかりいられない。限られた財源の中でも、今よりもっと良くできる余地はあると考える。そのためには、将来にわたって安心して暮らせるまちの実現を目指し、限られた財源を有効に活用していくためにはどうすればよいか市民と課題を共有し、一緒に考える場が必要だ。

事業仕分けは、館山市を今よりもっと良くするために実施する。行政がどこまでの事務事業を行うのか、民間の力を借りて実施できる事業はないか、事務事業を見直すことで歳出削減に繋げることができないか、あるいはこの分野は拡充していくべきかなど、市民と共に検討していきたい。

2 対象事業の選定

対象事業は、令和元年度事業仕分け対象事業を含み選定を行う

(理由)

- 令和元年度事業仕分けで選定された事業が、令和5年度予算においても以前と同様の事業内容の場合、課題解決に至っていないため、再度対象とする。
- 令和元年度対象事業はイベントをメインにしていたが、コロナ禍により、イベント自体が縮小したり未実施だったり状況が大きく変わっているので、イベントの必要性含め議論せずに元のイベントへ戻すのではなく、再度対象として議論する。
- イベント関連事業を前回同様取り上げるが、今後の行革の波及をより全体に、効果的にするために「幅広い」事業を対象とする。

その他の対象事業の抽出方法

<『第4次館山市行財政改革方針』で課題の分野>

- 補助金事業のいずれか(方針の中で「ガイドライン」を制定しルール化を検討している。今後新規補助金制度設立の場合の時限措置や、KPIの設定・検証を確実にを行う事業評価レビュー的なものを検討したい。)
- 公共施設マネジメントの取組として、今まで議論していない施設をテーマにしたい。(公民館(老朽化が顕著であるところなど、今までの使われ方、今後の使われ方を検討)・博物館(複数あり))
- 子育ての分野で、各課で取り組んでいる特別支援事業(支援員・家庭児童相談員、マザーズホーム)を、専門性や人材の確保などの課題や、一貫した支援となるような取組の検討(センター機能強化、民間委託)。
(特別支援教育支援員事業など、人件費をメインとした事業費用はコストが見えづらいため改めて事実を把握し役割の最大化を目指したい)
- その他改善が見込める事業を検討する。

【対象としない事業】

- ・法により行わなければならない事業
- ・開始して間もない事業（3年以内）
- ・予算額が100万円以下の事業（イベントに関する事業は人件費を含めて判断）
- ・事業の終了時期が決まっている、または実施の期間が限定的な事業
- ・すでに見直しを始めている事業
- ・その他政策的な要素が強いなど、事業仕分けに適さない事業

【対象とする事業】

- ・市の裁量が大きい事業
- ・事業を開始してから5年以上経過している事業

※この中から以下を今年度の重点的な見直し分野として選定

① イベント・行事

- ・これまで事業仕分けで議論していない事業で、市民の多くが接したことがあり身近に感じられる事業

②『第4次館山市行財政改革方針』で課題の分野

- ・公共施設のあり方
- ・社会保障関連経費
- ・補助金 など

③ 事業仕分けでの議論で事業の発展が望める分野

- ・子育てに関すること
- ・収入を増やす方策 など

	対象事業	担当課
①	若潮マラソン大会	スポーツ課
② ※1	観光振興支援事業補助金	観光みなと課
	市民協働事業補助金	市民協働課
	環境保全団体支援事業補助金	環境課
③ ※1	植栽管理事業	建設課
	観光地美化事業委託料	観光みなと課
	花のまちづくり事業（うち植栽に関すること） 地区花壇植栽費	都市計画課 生涯学習課
④	博物館の運営（博物館管理運営費）	博物館
⑤	社会教育施設（公民館）の運営	中央公民館
⑥ ※1	移住定住促進事業	雇用商工課
	移住者定住促進助成金	
⑦	起業支援補助金	雇用商工課
⑧	高齢者への配食サービス	高齢者福祉課
⑨	地域子育て支援拠点施設「元気な広場」の運営	こども課
⑩	中・軽度の心身障害者（児）医療給付扶助費	社会福祉課
⑪	防災行政無線	危機管理課

※1 選定した事業に関連する事業をあわせて議論します。